

# 地球最後の大使命

黙示録 14 : 6-12 読む

「最も重要なテーマは、第一、第二天使の使命を含めての、第三天使の使命である。すべての人は、これらの使命に含まれる真理を理解して、それを日常生活に表さなければならない。なぜなら、これは救いに不可欠なことだからである。これらの大いなる真理を理解できるよう、私たちは熱心に、祈りながら研究しなければならない」 EV196

1. 全世界のすべての人々に述べ伝えなければならない使命である。重要性!
2. しかも「大声で」伝えるべきメッセージである。重要性!
3. 「恐怖すべき威嚇をもった恐るべき警告の使命」 see 初代 414 大下 171、大下 157.
  - ・裁きの時は来た。
  - ・バビロンは倒れた
  - ・獣と獣の像と獣の刻印を受ける者に対する恐るべき刑罰
4. しかし、「永遠の福音」と言われている。これは一体どういうことだろう?
  - ・恐るべき威嚇すべき警告が福音となりうるのか?
  - ・E.G.ホワイトは「三天使の使命は、信仰による義認そのものである」とも言っている。
  - ・果たしてどうであるかを調べたい。神の言葉に断じて矛盾はない。
5. 地球最後のメッセージである!
  - ・なぜなら、この三天使の使命の次の描写は大収穫、キリストの再臨の描写である(14-20、穀物の収穫、ぶどうの収穫)。
  - ・マタイ 3:30 収穫まで、両方とも育つままにしておけ。収穫の時になったら、刈る者に、まず毒麦を集めて束にして焼き、麦の方は集めて倉に入れてくれ、と言いつけよう』
  - ・収穫とは世の終わりのことである。実物 52. 2SP 250. RH, April 1, 1902。「収穫というのは、恵みの終わりの時のこと」実物 50
6. 永遠の分離をもたらすメッセージである。
  - ・穀物の収穫は義人の収穫、ぶどうの収穫は悪人の収穫、を表す。
  - ・獣の刻印を受けるものと神の印を受ける者が永遠に分離される。

「両方とも収穫まで育つままにせよ。その時、主が毒麦を集めて焼き、また麦を天の倉に集めるためにご自分の刈り取る者を送られる。さばきの時は最も厳粛な時である。その時に主はご自分の民を毒麦から集められる。同じ家族の者が分かれたる。義人には印が与えられるであろう。…交わっていた者(悪人)は神からの永遠の分離の印が押されるであろう。」TM 234,235

2 コリント 6:14 「不信者と、つり合わないくびきを共にするな。義と不義となんの係わりがあるか。光とやみとなんの交わりがあるか。

6:15 キリストとベリアルとなんの調和があるか。信仰と不信仰となんの関係があるか。6:16 神の宮と偶像となんの一致があるか。わたしたちは、生ける神の宮である。神がこう仰せになっている、『わたしは彼らの間に住み、かつ出入りをするであろう。そして、わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となるであろう』。

6:17 だから、『彼らの間から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。そして、汚れたものに触れてはならない。触れなければ、わたしはあなたがたを受けいれよう』

ローマ 12:1 「兄弟たちよ。そういうわけで、神のあわれみによってあなたがたに勧める。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてささげなさい。それが、あなたがたのなすべき霊的な礼拝である。12:2 あなたがたは、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることによって、造りかえられ、何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである」

ヨハネ 17:17 「真理によって彼らを聖別して下さい。あなたの御言は真理であります。17:18 あなたがわたしを世につかわされたように、わたしも彼らを世につかわしました。17:19 また彼らが真理によって聖別されるように、彼らのためわたし自身を聖別いたします」

「しかし、群れが今必要としているのは『現代の真理』である。わたしは、使命者たちが、現代の真理の重要点を離れて、群れを一致させ魂を清めるのになんの役にもたない問題を長々と話す危険を見た」 初代 137.

・ 三天使の使命は「現代の真理」 6 T61.

・ 「小異を捨てて大同につく」キリスト教エキュメニカル運動(合同、一致運動)、宗教大連合は、神の御心ではない。

「あらしが迫って来るとき、第三天使の使命を信じると公言していながら、真理に従うことによって清められていなかった多くの者が、その信仰を棄てて反対の側に加わる。彼らは、世俗と結合し、その精神を抱くことによって、ほとんど同じ見方で物事を見るようになっている。そして、試練が来ると、彼らはすぐに、安易で一般向けのする側を選ぶのである。かつては真理を喜んだところの、才能ある雄弁な人々は、その力を用いて他の人々を欺き迷わす。彼らは、以前の兄弟たちにとって、最も苦い敵となる。安息日遵守者が法廷に呼び出されて、信仰について答えるときに、これらの背教者たちは、サタンの最も強力な手先となって、彼らの中傷し非難する。そして、偽りの報告やあてこすりによって、彼らに対する権力者たちの怒りをかき立てる」 大争闘下 378.

※ 「三天使の使命、三重の使命」は、ある時には「第三天使の使命」という使い方もする。また、第一、第二、第三天使と個別に使うこともある。

## 7. 必ず万人に伝えられる恐るべき厳粛な警告のメッセージ

「第三天使の使命には、人類に対する最も恐るべき予告が含まれている。あわれみをまじえない神の怒りを呼び起す罪は、怒るべきものにちがいない。人類は、この重大問題について暗黒の中にとり残されているのではない。すべての人が、なぜ苦難を受けなければならないかを知って、それから逃れる機会をもつことができるように、神の刑罰が下る前に、この罪に対する警告が世にあたえられるのだ」 生き残る人々 431.

「しかし、真理が人の心と良心に明らかに示され、そしてそれが拒否された上でなければ、だれひとりとして神の怒りを受けることはない。現代に対する特別の真理を聞く機会がこれまでになかった者が、大ぜいいる。第四条の戒めに従うべきことの真の意味が、まだ彼らに示されていない。すべての人の心を見ぬき、あらゆる動機を探られるおかたは、真理を知りたいと願っている者をだれ一人として、争闘の論点について欺かれるままにしてはおかれない。法令は、盲目的に人々に強制されることはない。すべての者は、賢明な決断を下すに十分なだけの光が与えられるのである」 大争闘下 374.

「われわれが召されて持っているような神聖で、厳粛な使命を持つ人々の生活にみせかけがあってはならない。世はセブンスデー・アドベンチストを見つめている。世は彼らの信仰の告白や、高い標準について何らかを知っているからである。だから世は、彼らの告白に従った生活をしていない人々を見ると、ちょう笑して指さすのである」 クリスチャンの奉仕 329.

「災害の結果に苦しんで、悪人たちの多くは怒りに燃えた。それは恐ろしい苦悶の光景だった。親は子供たちを激しく非難し、子供たちは親を、兄弟は姉妹を、姉妹は兄弟を非難していた。『あなたがわたしに真理を信じさせまいとしたのだ。そうでなければ、こんな恐ろしい目に会わずにすんだものを』と言って、大声で泣きわめくのが、四方から聞こえた。人々は、激しい憎しみをもって牧師たちに向かい、『あなたは、わたしたちに警告してくれなかった。あなたは、全世界の人が悔い改めて救われる時が来ると言ったではないか。あは、平和だ、平和だと叫んで、恐怖心の起きるたびに、それを静めてしまって、こんことになるとは言わなかったではないか。わたしたちに警告する人があると、あれは狂者で、わたしたちを滅ぼす悪い人たちだと、あなたは言ったではないか』と言って、彼を責めた。しかしわたしは、牧師たちも神の怒りをまぬかれないのを見た。彼らの苦しきは、人々の痛みよりも十倍も激しかった」初代 455.

## 8. 三天使の使命は、至聖所に人々の心に向ける!

- ・ 黙示録のメッセージは、聖所から発せられるメッセージである。
- ・ 黙示録 1 章は聖所一第一の部屋にイエスがおられる。—7 つの教会
- ・ 黙示録 4 章、5 章は、イエスが聖所から至聖所に働きを変更なさっている。—7 つの封印
- ・ 黙示録 8 章は、至聖所の働きを終えられてから、恩恵期間の終了後、聖所におられる。—7 つのラッパ
- ・ 黙示録 11 : 19 は、最終時代に起こる大争闘の事件を描写している。この聖句は 12 章に結びつくものである。12 章以降の事件の背景となるべきもの。イエスが至聖所におられる間の事件。
  - ・ 黙示録 16:1 聖所から 7 つの災害が注がれる。
  - ・ 黙示録 17 章から 19 章、バビロンの滅亡
  - ・ 黙示録 20 章 千年期
  - ・ 黙示録 21、21 章 新天地には聖所はない。

### 黙示録 11:19 以降

「そして、天にある神の聖所が開けて、聖所の中に契約の箱が見えた。また、いなくとも、もろもろの声と、雷鳴と、地震とが起り、大粒の雹が降った」

「第三天使は、神の戒めを守り、イエスを信じる信仰を持ち続ける者とは対照的に、別の一団を指摘している。て彼らの誤りに対して、厳粛で恐ろしい警告が発せられている。「おおよそ、獣とその像とを拝み、額や手に刻印を受ける者は、……神の激しい怒りのぶどう酒を飲」む（黙示録 14 : 9, 10）。このメッセージを理解するには、ここに用いられている象徴を正しく解釈することが必要である。獣、像、刻印とは、いったい何を表わしているのでしょうか。これらの象徴が用いられている一連の預言は、黙示録 12 章から、キリストを誕生の時に滅ぼそうとした龍から、始まっている」

「第三の天使は、『ここに、神の戒めを守り、イエスを信じる信仰を持ちつづける聖徒の忍耐がある』と言って、メッセージを終わっている。彼は、この言葉を繰り返したときに、天の聖所を指さした。このメッセージを信じるすべての者の心は、至聖所に向けられる」

- ① 三天使の使命は、至聖所のイエスを凝視させる。
- ② 獣の刻印を受ける者は皆、獣=ローマ法王を讃え、拝む。  
今や全世界支配をほとんど成し遂げる法王の絵を見せる。PPT

## 9. 第三天使の使命が宣伝される時が来たか?

「しかし、日曜日遵守を強制する問題が広く論じられるとき、長い間疑われ信じられなかった事件が近づいてくるのがわかり、第三天使の使命は、今までになかったような結果をもたらすことであろう。

現代のエリヤたち

神は、どの時代においても、世俗と教会の罪を責めるために、ご自分のしもべたちを遣わされた。しかし人々は、自分たちに対し耳ざわりのよいことが語られることを望み、純粋な、ありのままの真理は受け入れないのである。多くの改革者たちは、その仕事を始めたときに、教会と国家の罪を非難するのに、きわめて慎重を期した。

彼らは、真のキリスト者の生活の模範を示すことによって、人々を聖書の教理に引きもどそうとした。

しかし、神の霊がエリヤに臨み、悪王と背信の民を譴責させられたのと同じように、彼らにも神の霊が与えられた。彼らは、聖書の明白な言葉、すなわち、これまで伝えることを躊躇していた教理を、伝えずにはおれなくなった。彼らは、真理と、魂をおびやかす危険とを、熱心に宣言せずにはおられなくなった。彼らは、その結果がどうなろうと、主が彼らに与えられたその言葉を語った。そして、人々はその警告を聞かなければならなかった。

第三天使の使命も、このようにして宣布される。それが非常な力で伝えられる時が来るならば、主は謙遜な器を通して働かれ、主の奉仕に献身した人々の心を導かれる。働き人は、学歴ではなくて、聖霊を注がれることによって資格を与えられる。信仰と祈りの人は、聖なる熱意に燃えて出て行き、神から与えられる言葉を宣言せざるをえなくなる。バビロンの罪は暴露される。教会の法令を政権によって強制することの恐るべき結果、心霊術の侵入、法王権のひそかではあるが急速な発展などが、みな暴露される。これらの厳粛な警告によって、人々はこれらの厳粛な警告によって、人々は動かされる。こうした言葉を聞いたことのない者が、幾千となく耳を傾ける。バビロンとは、その誤りと罪のために、また、天からの真理を拒んだために倒れた教会である、ということを知って、彼らは驚くのである。人々が、彼らのかつての教師たちのところへ行って、これらのことは真実であるかと、熱心に尋ねるときに、**牧師たちは**、作り話を語り、耳ざわりのよいことを予言し、彼らの恐怖と目ざめた良心をしずめようとする。しかし、多くの人々は、単なる人間の権威に満足せずに、はっきりした「主はこう言われる」という言葉を要求するので、一般教会の**牧師たちは**、昔のパリサイ人のように、自分たちの権威が疑われたことを怒って、そのメッセージはサタンから出たものであると非難し、罪を愛する群衆を煽動して、その宣布者たちをあざけり、**迫害するのである**」大争闘下375-376。

契約の虹 3 2 キリストには変えられません